

## 【中学校の部】 最優秀賞

# 答えは私が見つかる

竹田市立直入中学校 3年

阿南 真実



「あなたのふるさとはどんなところ？」  
と聞かれたら、昨年までの私は、

「山と田んぼに囲まれた田舎です。」  
としか答えられなかったでしょう。ですが、今の私はそれ以上のことが頭に浮かびます。それは、昨年の修学旅行で観光大使活動を行ったからです。

私たちは、修学旅行の自主研修で出会った人に、観光大使としてパンフレットを渡し、直入町をPRすることにしました。パンフレットづくりを始めると、それに何を書くのかがなかなか決まりませんでした。何を調べてほしくて、どこに来てもらいたいのかというところから話し合いは始まりました。

そして最終的に決まったのは、温泉です。私が住んでいる地域には、だいたい十四か所くらいの温泉があります。そこからいくつかを選び、その温泉の良いところを書かなければなりません。私は、ある一つの温泉だけ、とても悩んで書いたのがありました。それは、ガニ湯という露天風呂です。地元ではとても有名で、直入町のシンボルのような温泉なのですが、川のすぐそばにあり、上の道路から丸見えの温泉なのです。入っている人はたまにしか見かけません。地元の私たちでも何と書いたらいいのかわからず、班のみんなで悩みました。そしてついに思いついたのです。外から丸見えということは、それだけ自然が見えるということだ、と。私たちはこう書きました。

「三百六十度自然が楽しみたい方は、こちら」  
私は、自然が武器になるんだ!と改めて思いました。

そして、ついにパンフレットを渡す日が来ました。最初はドキドキしました。初めて来た長崎の街で、初対面の人に声をかけ、  
「どこ、それ?田舎?」  
なんて思われたらどうしようと、正直すごく怖かったです。ですが話しかけてみると、すぐ前のめりで自分たちの話を聞いてくれました。心がとても温

かくなりました。もう一人声をかけると、その人は、「あっ!知ってる!めっちゃ空気がきれいなんで~!行ったことあるんよ~!」

とってくれました。その後も、「緑がきれいで、自然が豊かなんよなあ~。」という言葉聞くことができました。

こんなに私たちの地域を知ってくれているということはもちろん嬉しかったのですが、何より「自然が豊か」「空気がきれい」といった自然で覚えてくれていたことが、とっても嬉しかったです。

私は、ふるさと観光大使としてたくさんの人にパンフレットを渡しながら、自分の地域、自分のふるさとのことを知らないのは、私自身ではないかと思い始めました。そしてもう一度自分のふるさについて考えました。温泉がたくさんある、川がきれい、木々の様子から四季を感じられる、空気がおいしい。自然ではないけれど、毎朝挨拶をしてくれる地域の方々がいる。この地域の方の挨拶は、本当にあたたかくて元気がでます。挨拶だけでなく「気をつけてな。」とってくれることもあって、とても嬉しくなります。これが私のふるさとのいいところです。

だけどたまに、「早く田舎を出たい」「コンビニもないし、遊ぶところもない!」と思うことがあります。そのことを母に言うと、「確かに…、まあ、一回離れたらわかるよ。」と言われました。だけど、ここを離れてしまったら、都会の便利さに慣れて、今住んでいるところには戻れなくなりそうだと私は思います。

母の言うことは、いまだにわかりません。いつかわかる 때가来るのでしょうか。その答えは私自身で見つけるしかありません。そのために今は、もっともふるさとのこと、この地域のことを知りたいと思います。私の大好きな、この自然豊かなふるさとを、もっとたくさんの人に知ってもらって、好きになってもらって、たくさんあたたかい人が増えたらいいなと思います。